

## WUOC2014 報告

名古屋大学卒 細川 知希

チェコ共和国のオロモウツで開催された WUOC2014 の報告をいたします。

初めての世界大会で自身のこれまでの実力を出し切ることと、世界の選手の走りを肌で感じることを目標として出場しました。

### <ロング>

日本のようなゴツイ地形でおおむね対応しやすかった。ロングレグをよりの確に処理できれば、全出走者中上位半分の 50 位以内も十分射程圏内ただけに逃してしまい残念。中盤にブルガリアの選手、終盤にチェコの選手に数レグの間パックした(くらいついた)区間があったが、特に登りの速度が段違いだった。

### <ミドル>

一転してフラットな地形で日本の富士地区とも違って深い溝もなくずっと走らなければならぬトレインだった。経験値もなく、完全には対応できなかったが、トップスピードで A ヤブを突っ切るレグなどうまくいったレグも複数あり、とても楽しかったし、自信になった。しかし、低い位置に枝が生えて見通しの利かない B ヤブでは速度が落ち、方向維持も難しくミスを連発してしまった。

<リレー>前日のミドルと同じトレイン。尾崎-細川-真保の走順で 2 走を走った。前日の経験もありいいペースで前半から入ることができ、先行されていた中国チームに追いついたが、問題の B ヤブ内の枯れ川で大きくロストしてしまい、結果抜かすことはできなかった。

全体を通して、重々承知していたことではあるが、2 つの差が歴然であった。①体力面(そもそもの体格差に加えてスタミナ)、②技術面(日頃練習している環境が違いすぎる)の 2 つである。パブリックコントロールや実際に並走することで、世界トップレベルの選手の走りを間近で見ることができ、この目に焼きつけた。とてもかっこよかったし、少しでも近付きたい想いを新たに持った。さらに、スイスチームと大会を通して仲良くなることができ、拙い英語ながら会話して楽しんだり、シャツを交換してもらったりと、とてもいい経験になった。この WUOC での経験をただ楽しかったという感想で終わることなく、今後のモチベーションのアップにつなげ、2 年後のハンガリーでリベンジしたいという想いを今、持っています。